

## 2022年度 事業報告

福井武司理事長のもと、引続き佐野春仁校長・桐浴邦夫副校長体制により学校運営・広報活動また学校外での活動を通して本校の認知度を上げる努力を行っている。

2022年後半より**新型コロナウイルスの感染拡大による脅威**も社会的にようやく収束に向かい、本校に於いても見学や行事において通常が戻りつつあった。しかしながら入学式・卒業式は規模縮小・時間短縮して挙行、創立70周年記念式典も75周年に変更した。引続き朝と夕に机、手すり等の消毒、登校時の検温、教室の換気などの感染対策を継続して行っているが。なお、2021年度より始めた建築科二部及び伝統建築研究科で仕事などで登校できない学生のため、設計製図演習を除く、講義の**オンライン併用**を継続して行っている。

従来同様、本校教育方針である「**建築の基礎力を身につけ、伝統や木造建築を理解し、現代に生かすことのできる建築のプロフェッショナルを育てる**」に準拠し、「**京都・伝統・木造**」を前面に出して、他校との差別化を図っている。また、前記教育方針に加え、「伝統ある建築専門学校」を全国的にアピールすることで高等学校や地域において広報活動の強化を継続する。ここ数年、建築科の入学生に伝統や木造、大工といった学びを目指す学生が増えており、建築科では大工技能に優れた入学生も見受けられる。今後もより意志を持った学生を集めることで本校の個性を強化し、特性を活かした教育を進め、磨きをかけていく。(→萌木スカラシップ)

また、**高校・組合との連携アップ・同窓会組織の有効活用**など本校を知ってもらうための活動を行う。(学園・組合 削ろう会7月10日開催)なお、2022年度の建築科卒業制作木工チームでは、東山五条町家改修、中川の古民家改修、向日市古墳公園小屋の制作、松本邸の改修のプロジェクトを行った。(一部は引き続き行っている)

### 2022年度卒業生67名巣立つ

建築科42名、建築科二部25名が卒業。昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策のため、卒業式を規模縮小、時間短縮して行った。(昨年度卒業生 建築科32名、二部21名)

### 小規模校ならではの手作り教育

従来通り、小規模校の特性を活かし、学生と教職員が一体となって建築を学び、豊かな教養を持った社会人として巣立つことを目標に日々の学校運営を進める。授業は、建築の基礎をきめ細かく教え、二級建築士が持たなければならない知識の習得に努めた。加えて、実習・演習はもとより、各授業でも本校の特色である「**京都・伝統・木造**」を盛り込んだ授業を展開する。また、従前からの資格取得のための対策講座に加え2021年度からは「**木造建築士**」取得を目指す「**ゼミ**」を開講。一人ひとりの個性を伸ばすゼミの開講、感性を伸ばし社会への適応力をつける課外活動なども積極的に進めた。さらに、学校生活に適応しにくい学生や不登校気味の学生への目配り、学力不足のための落伍者を最小限に食い止めるために、四半期毎に面談を行うとともに数学や力学の苦手科目克服の授業を開いている。

建築科の**卒業制作ゼミ**では設計3グループ、木工4グループに分かれ、それぞれ担当の先生に熟を入れて指導していただいた。その成果は2月の卒業制作展及び卒業制作発表会にて公開された。

### 入学生の確保及び就職

#### 入学生の確保

本校の教育方針を前面に掲げ、他校との差別化を図った学生募集を行った。

結果、2022年度の入学生は建築科では45名と昨年より3名減、建築科二部では29名で昨年より2名減となった。二部同様**オンライン併用**とした伝統建築研究科では前期「基礎・社寺編」23名・後期「茶室数寄屋・民家町家編」32名と大変好評であった。

(2023年度入学生は建築科39名(6名減)、建築科二部20名(9名減)と大幅に減少。京都市内の高校における大学進学率の上昇傾向が顕著である中、一層の募集の努力が求められる。

## 入学生確保のための実施事項

1. **オープンキャンパス**を26回開催した。(2021年度は25回)
  - ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら開催するが、昨年より参加者が随分少なかった。在校生を主体とする設計作品の紹介に加えて、初歩的な体験授業(木工体験、伝統建築見学体験、ミニ講義等)を行った。また、秋からは建築科二部の志願者を対象とした夜間の説明会を6回(昨年と同じ)開催した。  
(参加者19名、昨年参加者25名、一昨年参加者24名)
  - ・全参加者は115名(21)161名(20)141名(19)159名(18)176名(17)153名(16)154名)
  - ・感染予防により、オープンキャンパスへの参加者以外に**個別訪問**や**リモート**での個別相談も引き続き行っている。
2. **学校案内**及び**ホームページ**には学校や学生の活動を紹介。年々Net情報の重要度は高くなっており、ホームページにはブログの他、実習授業風景や堀川茶室制作、在校生へのインタビューなどの動画により、高校生や保護者等の関心を惹きつけるようにしている。
3. 新型コロナウイルスのため今年度は**高校訪問**を重点校に絞り訪問した。

## 就職指導

1. 2022年度就職率は**97.7%**であった。(建築科 設9人施14人大工15人進学2人他2人)  
今後とも高い就職率が維持できるよう、就職ガイダンスや個人面談等、きめ細やかな支援体制の更なる向上を図る。
2. 2022年度も**273社**とたくさんの求人をお願いした。  
(21) 243社 (20) 245社 (19) 246社 (18) 244社 (17) 258社 (16) 285社 (15) 245社 )  
例年どおり施工管理の求人が多く、設計・大工の求人開拓が必要である。
3. 京都の企業人、卒業生による「ミニレクチュア」を数回行い、業種の紹介・就職指導等を行った。

## 学校行事の実施

### 学園祭「建工祭」

11月4日(金)～6日(日)の3日間、昨年と同じ堀川の丸太町橋下側に茶室を設置し、学園役員、市民講座会員、卒業生および在校生家族の方々、通り掛かりの方々にお茶をふるまった。14年間続いている堀川茶会は今や恒例の秋の風物詩になりつつある。2022年度も多く的一般人客の参加があった。その他、よしやまち校舎での餅つき(学内対象)を行った。

### 卒業制作発表会および展示会

2月24日(金)～2月26日(日)の3日間、昨年と同じ『堀川新文化ビルディング イベントスペースNEUTRAL』(堀川商店街北端・一階は大垣書店)にて開催。卒業生や書店を訪れた方等、多数の方々に見ていただいた。また、2月25日(土)にはホテルルビノ京都堀川にて発表会を行った。なお、卒業式当日の卒業制作展示については新型コロナウイルス感染予防対策のため中止した。

### 資格試験対策など

1. **二級建築施工管理技術検定試験(第一次検定)対策講座**〔在校生 無料〕  
昨年同様、齋藤先生が担当となり、回数も20回開講した。
  - ・開講期間 9月20日～11月11日
  - ・第一次検定試験 11月13日(日)
  - ・受験申込者21名 受験者21名 合格者15名 合格率71.4%(全国合格率42.3%)と全国平均を大きく上回った。  
(昨年合格率52.6% 全国合格率48.8%/一昨年合格率21.7% 全国合格率35.9%)
2. **二級建築士受験対策講座**〔卒業後 有料〕
  - ・学科コース、製図コースを開講し合格率UPを目指した。
    - ①学科受講者 15名 合否判明者13名 合格者8名  
合格率61.5%(全国42.8%)〔昨年合格率61.1%(全国42.0%)〕

- (担当 計画:菅原・構造:山口・法規:永良・施工:齋藤)  
②製図受講者 24名 合否判明者21名 合格者12名  
合格率57.1% (全国52.5%) [昨年合格率58.3% (全国48.6%)]  
(担当:菅原・中)

3. **3D-CAD講習** [在校生は無料] (担当:山口)  
授業より一段進んだ3D-CAD上級コースの学習機会を与えるため夏休み中の夜間にリモートで5回開講。今年度よりソフトを変更し、Autodesk RevitとTwinmotionというソフトを使って講習を行った。(受講者 学生12名+外部1名)

### 京都府林・材・建青年協議会による研修セミナー

3ヶ年にわたるセミナーに参加。2020伐栽、2021製材、2022は京北合併記念の森にデッキを製作した。

### 市民講座

12月10日(土) 鋸研師 中津勝一氏を迎え、オンライン併用で開催。一般22名・学生10名・教員2名会場参加

### 防災士養成講座

地域防災の担い手となる「防災士」を養成する機関として京都府内で初めて認定を受け2022年度より本校にて開講。定員を超える申込があった。

11月26日(土)・27日(日) 受講者60名 (うち59名試験合格)

### 萌木スカラシップ

本校創立50周年記念事業であるよしやまち町家校舎耐震補強整備で指導を依頼、その後も本校における伝統木造構法の教育に指導、助言を得ている「鈴木有」氏より奨学金寄附の相談を受け、同年6月「特定公益増進法人」の資格を取得、どのような奨学金制度が現在の学園、学校に適當であるかの協議を重ね、この奨学金を「大工技能に優れ、京都の本校にて伝統木造構法技術の学習に意欲をもつ若者」に給付する特待奨学金とする方針に至り「萌木スカラシップ」と命名。2024年度より施行する。

### 「学校寄付型私募債」による寄贈品を贈呈

下記企業様より「学校寄付型私募債」による寄贈品を贈呈いただく運びとなった。

- ①京都銀行 中島工務店(山科観修寺)  
木工用丸鋸
- ②関西みらい銀行  
大安組 (左京区一条寺)  
プロジェクター2台

### 見学

1. 春の見学(明治村) 学生83名+引率4名 バス2台
2. 秋の見学(中止) 学生24名+引率3名
3. 上賀茂神社・大報恩寺・北野天満宮・三十三間堂・平等院鳳凰堂・東寺・西本願寺・醍醐寺・東大寺・興福寺・元興寺・二条城 等 (建築科1年 伝統建築演習)
4. その他、景観論ゼミ、設計製図、施工、設備、町家ゼミ等で見学あり

### 堀川商店街「堀川デッキ」製作

堀川商店街からの依頼を受けて、学生たちで製作。2023年度も商店街広報企画会議に参加している。

### 高等教育の修学支援新制度について

しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学や専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省による、高等教育の修学支援新制度が2020年4月から実施され、本校も引続き対象校となる。